

ニュースレター

☆タイトル募集中☆



昨年、私たちはペット看取り士となりました

昨年、スタッフ全員でペット見取り士の民間資格を取得しました。もちろん、“健康に元気に長生き”、“持病があってもうまく付き合っご機嫌な日々を1日でも長く”、は私たちの切なる願いです。

ですが、人も動物もいつかは最期の時が来ます。その時が来ても、動物達を看取るご家族を微力ながらも支えられる私たちでありたい。そう思い、今後も学びを深めていこうと思います。

医療介入はできるだけ控えたい。でも、ご自身だけで看取ることに不安がある。他院で治療しているが看取ることに不安がある。そんな時でもご相談ください。また「ペット看取り士」で検索していただくと情報が得られます

1

公式 LINE

始めました

ぜひご登録ください

2

トリミング
ご相談ください

高齢、持病がある、
皮膚トラブルがある、
お手入れに困っている方

3

お口のケア

歯磨きは難しい、、、
でも大丈夫！
いろんな方法あります。
ご相談ください



寒いですね

お部屋の中は暖房、
お外は北風ピュー
ピュー。動物達のお
肌も乾燥していませ
んか？



花粉の影響を受ける
子達があります。目、
皮膚など観察して見
てください。



お水飲めていますか？
こたつの中にずーっ
と入っていると、ト
イレやお水が後回し
になりがちです。膀
胱炎や脱水になりや
すいのでご注意を。

”鎧”を強くするために

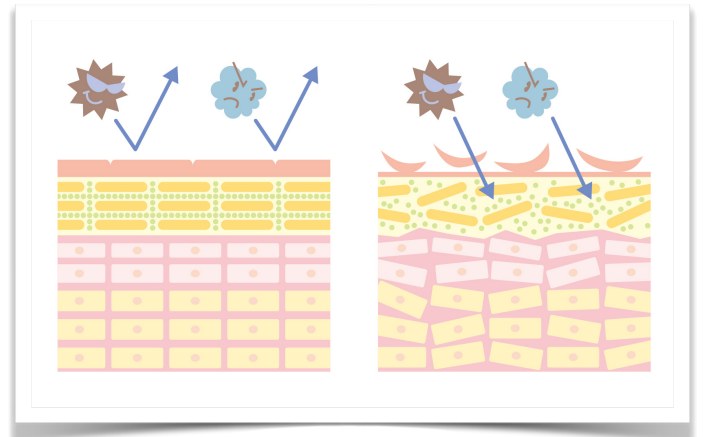
先月は、皮膚は体の中で最大の臓器であり”鎧”の役割がある、というお話をしました。今月は”鎧”つまり皮膚のバリアについてお話ししたいと思います。

皮膚は様々な方法を使って、外敵（細菌、ウイルス、真菌、外的刺激、寄生虫など）から身を守っています。また、体内の水分などが逃げていかないようにする役割もあります。

まず、皮脂と汗で表面をコーティング。皮脂と汗の質や量も大切です。

そして、常在細菌。常在細菌と皮膚の細胞が多様に交信をしていて、皮膚の正常化を保っていることがわかってきています。

そして、皮膚は外側から「表皮・真皮・皮下組織」から成り立っています。この表皮はさらに4層に分かれ、外からのものを中に入れず、体内のものを逃さず、最前線で体を守っています。



たった数ミリの中に何層もの細胞の層があり、その細胞達はガッチリと手をつないでいるのです。

そして、下からどんどん新しい細胞が生まれ、役割を終えた細胞は死んでフケとなって捨てられます。この時、古くなった皮脂や増えすぎた細菌なども一緒に抱えて剥がれていくのです。

健気に踏ん張っている皮膚の細胞たちを少し想像していただけたでしょうか、？そしてその皮膚の細胞達をケアしてあげたくなくなってきませんか、？笑

まだまだ、皮膚バリアに関連する細胞達がいますので、それはまた来月。。

動物病院 徒然物語 その1

もうすぐ1歳のミニチュアダックスのミルちゃんメルちゃん。ほんとの姉妹のように過ごすふたりですが、ここに来るまでたくさんの関門がありました。。。ですが、献身的にお世話してくださるご家族に見守られてすくすくと成長してきました。

少し小柄で病気も長引きやすかったミルちゃんと、おっとりゆったりメルちゃん。小柄なミルちゃん表情は心なしか”かわよそう”な時が多いのですが、、、

ご家族曰く、お家ではけっこう強気なんだとか！

先にくつろいでいるメルちゃんを押しのかたり、窓の外に向かって吠えたりと、強気な一面が。そんな芯の強い一面を持ったミルちゃん、こらからもごきげんでいられるよう、協力させてくださいね。

